



【「港湾の未来と都市の関係」会合でのスピーチとパネルディスカッション】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 7 月 20 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

ISAP 2016 が開催されました

7 月 12 日～13 日にパシフィコ横浜国際会議センターで ISAP2016 が開催されました。

ISAP とは、国際的に活躍する専門家や企業、政府、国際機関、NGO 関係者が一堂に会し、持続可能な開発についてアジア太平洋地域の視点から議論を行う国際フォーラムです。Y-PORT センターの一員である（公財）地球環境戦略研究機関（IGES）と国連大学サステイナビリティ高等研究所が開催しており、今年で 8 回目になります。

昨年、国際社会で合意された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」や、「パリ協定」を、国際社会、国家、地方・地域レベルで効果的に実施していくための方策について議論を行い、持続可能な社会に向けたアクションを促しました。パネルディスカッションには、横浜市からは野村温暖化対策統括本部長が登壇し、横浜の様々なステークホルダーと連携したまちづくりについて発信しました。



（パネルディスカッションの様子）

シンガポール政府主催「世界都市サミット」で横浜の取組を発信

7 月 10～12 日に、シンガポール政府主催「世界都市サミット」の「港湾の未来と都市の関係」会合に平原副市長が出席しました。世界都市サミットは、世界各国のリーダー、自治体の首長、専門家、企業代表などが一堂に会し、「住みやすく持続可能な都市」をテーマに、都市が抱える課題について、解決策の議論や情報交換を行う国際会議です。住みやすく活気があり持続可能な都市創造に顕著な貢献をした都市に贈られる「リー・クワンユー世界都市賞」の受賞セレモニーが 2 年に一度、行われており、横浜市は、2014 年に市民や事業者と協力して取組を進めたみなどみらい 21 事業や港北ニュータウン事業、G30 計画の実績などが評価され、受賞しました。今回の会合では、2014 年の受賞で注目された本市のまちづくりの実績と、これを土台にした都市再生と課題解決の取組について参加者と共有し、世界へ発信しました。



（ネットワークング ミーティングの様子）

ネパール地震復興支援に関する覚書を締結しました

ネパール連邦民主共和国で平成 27 年 4 月 25 日に発生した地震によって、同国の首都・カトマンズ市をはじめとする多くの地域で、公共建築物、歴史的建築物、民間住宅などが被害を受けました。本市では、昨年 7 月に、職員を現地に派遣して復興支援に向けた調査を実施し、今年 3 月には、カトマンズ市職員を招いて公共建築物の耐震対策などをテーマとした技術研修を行いました。

このたび、横浜市技術職員（建築職）等を現地に派遣し、カトマンズ市技術職員向けの研修、被害建築物の耐震診断・助言等を行うとともに、震災復興を継続的に支援するための覚書を横浜市（建築局、国際局）とカトマンズ市、シティネット横浜プロジェクトオフィスの間で締結しました。



（覚書締結の様子）